施工業者様用

RESILIENCE CHARGE™
レジリエンスチャージ
施工手順書【工事店様用】
Ver.01

一般社団法人
全日本災害住宅レジリエンス協会

安全上のご注意

●据付け前に、必ず本施工説明書をお読みください。
●この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するためには正しい据付けが必要です。
●本製品を施工する前に機器構成の確認および現地にて事前調査を実施してください。
●別冊の『取扱説明書』は据付工事が終わりましたらこの説明書と共に必ずお客様にお渡しください。

禁止	指示
感電	アース

■電気配線工事は、資格を有する販売店または工事店様が実施してください。
■お客様自身での工事は、故障や事故の原因になります。
■火災・けが・感電のおそれがありますので、次の注意事項を必ず守って作業してください。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の図記号で区分して説明しています。

レジリエンスチャージ本体　設置時の注意

■本製品を以下の場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
・屋外及び直射日光があたる場所
・暖房やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
・油や湯気のあたるような場所
・湿気の多い場所や薬品などが付着する可能性がある場所
・ゴミやほこりが多い場所、有毒ガスが発生する可能性がある場所
・冷凍庫など、特に温度が下がる場所
・振動や衝撃があるような場所
・幼児の手が届くところ

■設置時、本製品内部に異物（壁材や電線屑等）が入らないようにしてください。
■本製品を改造や分解しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
■凹凸のない平らな面に取り付けてください。
周囲温度-5～40℃、湿度 90%RH 以内、温度変化で結露しない屋内に据付けてください。

■製品質量に耐えられる強固な垂直壁面、または固定するための下地に据付けてください。
（サイディング材等の壁は強度不足のため、間柱に据付けてください。）
■適切な間柱がない場合や、モルタル壁、土壁など、直接製品を据付けられない壁の場合は、
製品質量に耐えるように補強して据付けてください。
■本製品の上に重い物を置かないでください。倒壊、落下によりけがを引き起こすことがあります。

配 線 時 の ご 注 意

■非常用回路の合計消費電力は、1,500W/100V 以下になるようにしてください。
■本製品は単相 2 線式（1φ2W）100V 専用です。200V 機器を接続しないでください。
■挿込コネクタを接続する場合、必ず各相を正しく接続してください。
■本製品の定格電流を超える主幹ブレーカーは取り付けないでください。
■主幹ブレーカー2 次側端子及び接続部からの分岐配線は行わないでください。
■濡れた電気製品を接続しないでください。
■本製品に接続する電源は、正弦波出力のみとしてください。
矩形波等の電源を接続した場合、電化製品が壊れる可能性があります。

■電線サイズは最大負荷電流に適合したものを使用してください。
■導電部の接続ネジは、適正締め付けトルクで増し締めを行ってください。
■端子台接続部は、指定の電線を使用して抜けないように確実に接続してください。
（接続に不備があると火災の原因になります）
■コネクタで接続されている箇所は外さないでください。外した場合、コネクタの向きに注意してください。
■挿込コネクタへの接続は突き当たるまでしっかりと挿し込んでください。
挿し込みが不十分だと発熱する恐れがあります。
■ケーブルの端子接続作業は、指定した工具で確実に行ってください。不備があると火災の原因になります。
■接続されているケーブル部のみを持ち上げないでください。
■コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。
■取付けや配線には、必ず指定部材を使用してください。

■施工および点検時は必ず主電源を切ってください。電源が入ったままの施工は感電の原因になります。
■本製品の設置および取り外しに伴う作業は、電気設備技術基準および内線規程に沿って行ってください。

■接地線（アース）（緑）の接続は確実に行ってください。

システム概要図

レジリエンスチャージ（以下、本製品）は、電力ラインの自動切り替え器です。
非常時の電力安定性については、接続された電源と、使用いただく電気機器に依存しております。
通常時は電力会社からの電気を優先的に使用し、停電時には自動的に屋外電源入力（100V コンセント付自動車またはインバーター発電機 100V）または、太陽光発電の自立出力（100V）のいずれかが負荷回路に供給される仕組みになっています。

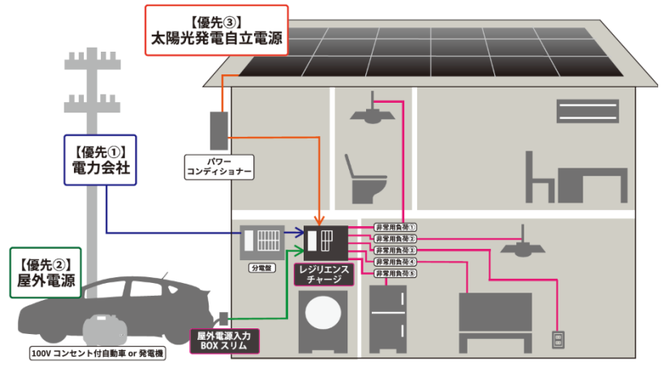
また、停電が復帰した場合は自動的に電力会社からの電気に切り替わります。
電力会社の電気、屋外電源、太陽光発電自立電源、
すべての電気が供給された場合の優先順位は、
①電力会社の電気、
②屋外電源、
③太陽光発電自立電源　となります。

※非常用電源の操作については、お客様ご自身で
行っていただく必要がございます。

【100V コンセント付自動車】
停電時…AC コンセントの出力 ON
停電復旧時…AC コンセントの出力 OFF

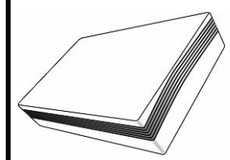
【太陽光発電自立電源】
停電時…パワーコンディショナーの自立運転への切り替え
停電復旧時…パワーコンディショナーの連系運転への切り替え
（自立運転のままでは売電ができません）

※詳しくは取扱説明書をご確認ください。

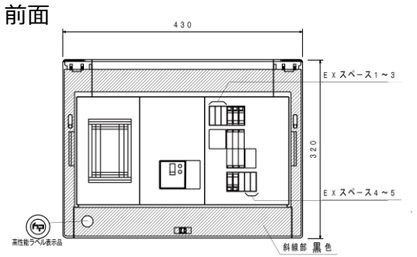


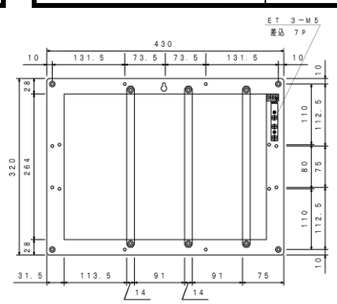
仕様および外形寸法

項目			内容
型式			ELD15L-NL
定格電圧			単相二線式
定格周波数			50/60Hz
定格消費電力			10W
入力	主幹ブレーカー（漏電遮断機能付）	相線式	単相二線式
		系統数	1 系統
		定格	15A（AC100V）
		定格周波数	50/60Hz
	分岐ブレーカー	相線式	単相二線式
		回路数	5 回路
		定格	20A（AC100V）
出力		相線式	単相二線式
		回路数	5 回路
		定格	15A（AC100V）
		定格周波数	50/60Hz
形状		外形寸法	W430mmH320mm×D110mm（扉開時 D399.5mm）
		重量	5.0Kg
使用温度範囲			周囲温度-5～40℃
使用湿度			湿度 90%RH 以内（温度変化で結露しないこと）
RoHS 対応			非対応

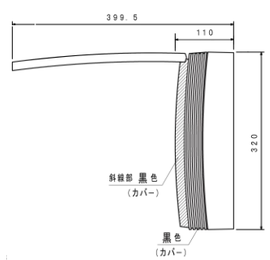
各機器の名称		
レジリエンスチャージ（ELD15L-NL）	屋外電源入力 BOX スリム（PMIB03）	※オプション品 非常用コンセントカバー（RDS4000W）
		
（非常用負荷分電盤）	W75xH185xD56.5	W70xH140xD18.5
屋外電源用接続ケーブル・アースケーブル（IBCM11）		※オプション品 停電時接続ユニット（PMUK01）
		
接続ケーブル10m アースケーブル3m		

■前面





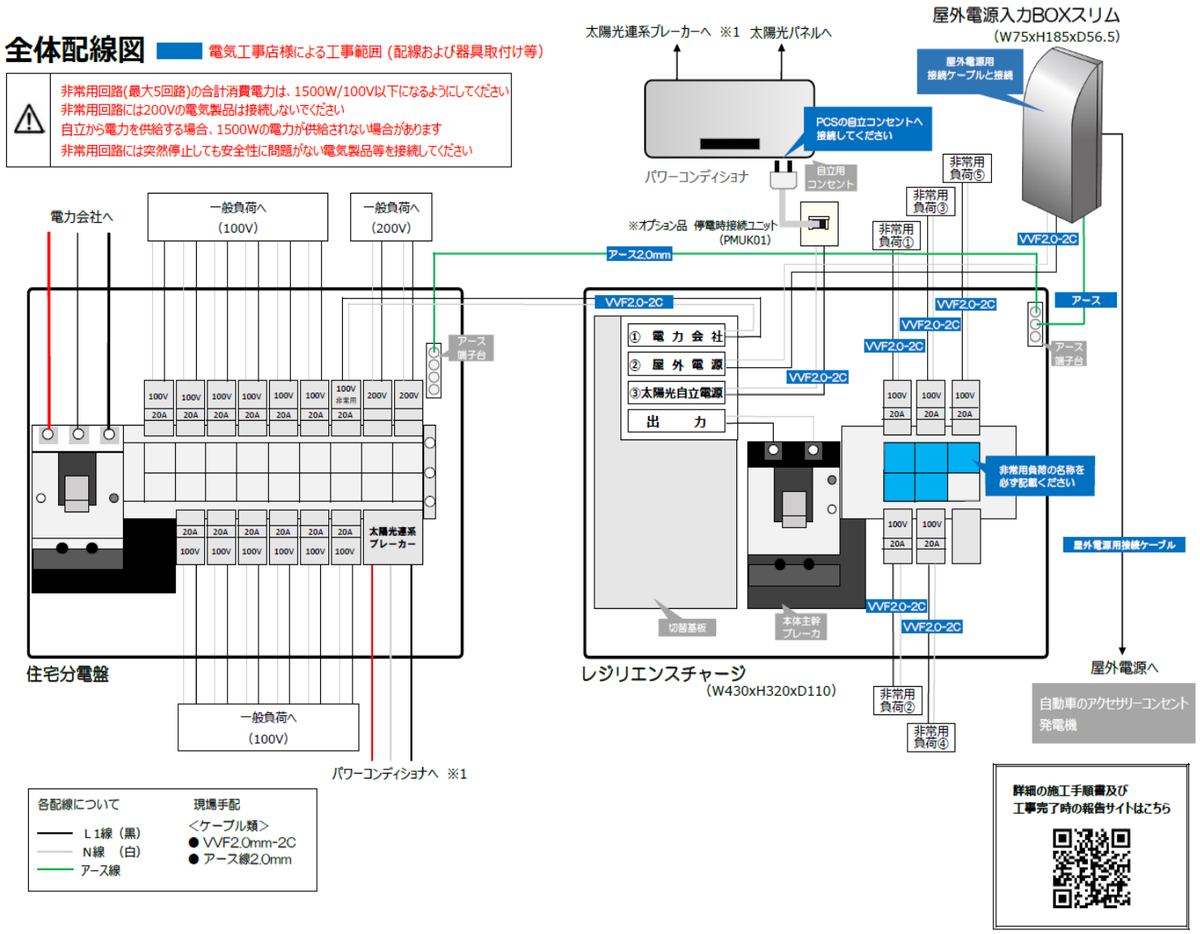
■側面



システム配線図

全体配線図 電気工事店様による工事範囲（配線および器具取付け等）

⚠ 非常用回路(最大5回路)の合計消費電力は、1500W/100V以下になるようにしてください
非常用回路には200Vの電気製品は接続しないでください
自立から電力を供給する場合、1500Wの電力が供給されない場合があります
非常用回路には突然停止しても安全性に問題がない電気製品等を接続してください



詳細の施工手順書及び工事完了時の報告サイトはこちら

レジリエンスチャージの配線方法

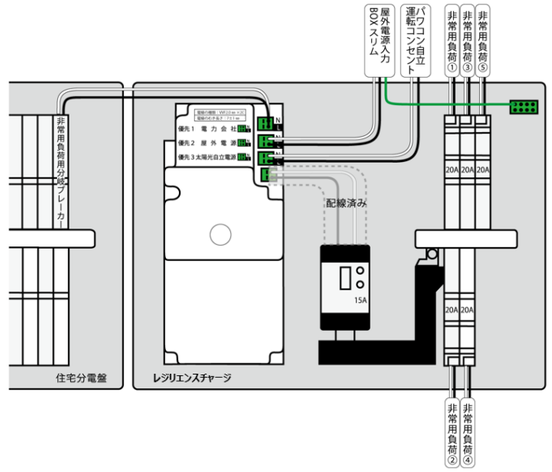
本製品内の配線は下図の通りです。
※線材はすべて VVF2.0mm-2C を使用してください。
（アース線は 2.0mm ミドリ）



■挿込み端子台接続方法【VVF1.6mm-2C の場合】
電線のむき長さを 11±1mm にし、
突き当たるまで挿し込みます。

■取り外し方法
解除はマイナスドライバー（小）を
解除穴に挿入し、電線を引き抜きます。

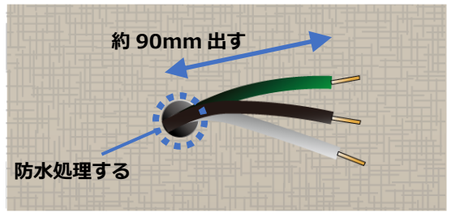
※解除する際は、挿込み端子台に過度な力をかけないよう
ご注意ください。挿込み端子台破損の恐れがあります。



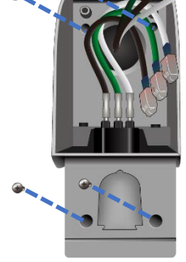
屋外電源入力 BOX スリムへの接続方法

■**設置場所の選定について**　自動車と接続する場合は、使用する接続ケーブルの長さの範囲内で、取り付け位置を決めてください。
（※ボックスの設置高さは、各地の積雪量や、見栄えなどを考慮し決定します。建築会社様へご確認お願いします。）

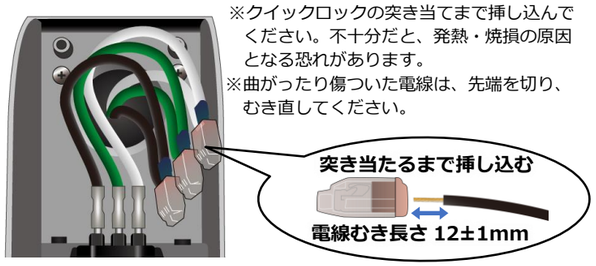
1 本製品の優先②屋外電源の挿込み端子台から VVF2.0mm-2C とアースケーブル（もしくは VVF2.0mm-3C）を配線します。
通線孔を、シーリングで防水処理してください。



2 屋外電源入力 BOX スリムの内カバーを外し、
ネジで外壁に固定します。

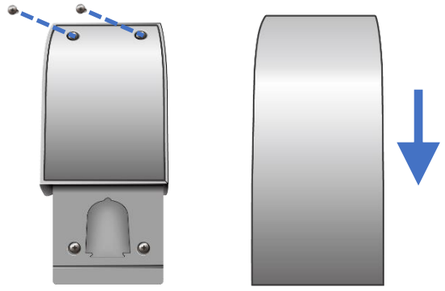


3 ハーネスの配線色に合わせ、配線してください。



※クイックロックの突き当てまで挿し込んでください。不十分だと、発熱・焼損の原因となる恐れがあります。
※曲がったり傷ついた電線は、先端を切り、むき直してください。

4 内カバーを被せ、ネジで固定し、外カバーを取り付けます。



非常用回路の選定について

■非常用５回路の消費電力の合計値は、1,500W/100V 以下に抑えるよう設計してください。

■下記のような回路につないでください
- **停電時に必要とする機器**
- **比較的、消費電力が少ない 100V 機器**

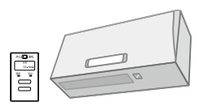


照明、冷蔵庫、テレビ※1、ルーター電源※2、扇風機、非常用コンセント※3 など※4

※1 機種によっては、切替え時に画像が途中で途切れたり停止したりする場合があります。
※2 ブロードバンドルーターなどの通信機器でテレビ放送を受信する場合、切替え時に通信機器が停止し起動するまでの間テレビ放送の受信が途切れる場合があります。
※3 使用中の電気製品の特性により、1,500W/100V を超え電流が流れると本製品の安全ブレーカーが作動し、給電を停止します。安全ブレーカーが作動してしまった場合は、接続している電気製品の消費電力を 1,500W/100V 以下に抑えてから安全ブレーカーを元に戻してください。
※4 電気機器によっては、電力切替え時に、初期設定または再設定が必要な場合もあります。

太陽光自立運転出力端子への接続方法

本製品の優先③太陽光自立電源の挿込み端子台から、
パワーコンディショナーの太陽光自立運転コンセントに接続してください。
※パワーコンディショナーの設置および配線については、メーカーにより異なります。
詳しくは、パワーコンディショナーの施工説明書をご確認ください。



施工後確認について

❶配線の確認を行ってください。　□レジリエンスチャージと屋外電源入力 BOX スリムを接続した。（導通確認）
□レジリエンスチャージとパワーコンディショナーの自立運転コンセントを接続した。（導通確認）
❷非常用負荷の合計が 1,500W/100V 以上になっていないか、ご確認ください。　❸住宅分電盤の主幹ブレーカーを OFF にして、優先回路②と③の動作確認を行ってください。